

# CWA NEWS



## 令和7年度交流会



参加者全員で記念撮影

総会が開催された6月21日（土）の午後、プラザ菜の花の3階に会場を移して、離任するALT送別を兼ねた交流会が開催されました。

冒頭挨拶に立った吉田和彦常務理事からは、当協会が設立されてから21年目を迎える本年は、ウィスコンシン州からの友好使節団を迎えて交流を深める予定であることを報告しました。

続いて相澤修一理事が乾杯の音頭をとり、各テーブルでは和やかに会食が始まりました。途中から昨年

の動画がスクリーンに映し出され、参加者は楽しそうに観ていました。



吉田和彦常務理事



相澤修一理事

交流会の動画がスクリーンに映し出され、参加者は楽しそうに観ていました。会食が一段落すると、昨年ウィスコンシン州を訪問した千葉県友好使節団の報告が行われました。先ず団長の笹生健司派遣・受入事業部会長が団員及び行程を述べた後、派遣時の様子を動画で紹介すると、参加者は興味深そうに見入っていました。

続いて、ウィスコンシン千葉委員会の宮崎貴美子さんが受入時の団員の様子を紹介し、その中で高校生たちのコミュニケーション力や英語力が日々向上するのを間近に見て感動したという話が印象に残りました。

次に、団員として同行した青木靖子運営委員が演奏リーダーだった篠笛奏者の片野聡さんからのメッセージを代読し、「様々な困難を乗り越えた高校生6人と演奏したことが最大の思い出となりました」と思いを伝えました。また、高校生一人ひとりのビデオメッセージも紹介され、その中で高校生は今回の貴重な体験を通じて得た学びや感動を率直に語っていました。

続いて、ウィスコンシン州出身で7月に離任するALTによるプレゼンテーションがありました。当日は4人の離任するALTのうち欠席された2人については県教育委員会ALTプログラムコーディネーターのMaximilian Gumble運営委員がメッセージを紹介しました（詳細は次ページ）。

最後に森山茂男運営委員長から交流会が盛会裏に終えられたことへのお礼が述べられ、参加者全員の記念撮影が行われました。今回初めて参加した方からアットホームでよかったと言っていました。

※この動画はCWAホームページ (<https://chiba-wisconsin.net/>) で公開中



ウィスコンシン州訪問時の様子を紹介した動画



会食の様子

交流会  
パート  
2

6月21日(日)の交流会では、離任するALT 2人がスライドを使って思い出などを語りました。また、他の離任ALTのメッセージについてはMaximilian Gumble運営委員から紹介されました。



### Alexis Lipkie (千葉県立安房高等学校)

私は千葉県立安房高等学校に4年間勤めていました。出身地は、ウィスコンシン州ウィンチェスターという人口数百人の小さな町です。近くに湖があり、冬になると父親と氷上釣りをしました。地元の人たちから館山のような田舎に住むのは大変でしょうとよく言われましたが、館山は自分の故郷と比べたら全然田舎だとは思いません。また、館山は故郷と異なる点が多いですが、館山の自然の美しさ、特に北条海岸が大好きです。

ALTとしての経験したことについてですが、2021年に来日した当時は、コロナ禍で仕事もプライベートも多くの困難がありました。到着後、出勤を許可されるまでの2週間アパートに隔離されたことを思い出します。

しかし、このような困難や苦難もありましたが、富士山に登ったり、地元の祭りでお神輿を担いだりと楽しい思い出もたくさんあります。ただし、お神輿を担ぐのは一度だけ経験すれば十分だと思いました。

今後ウィスコンシン州に帰り、当面家族とゆっくり過ごす予定です。

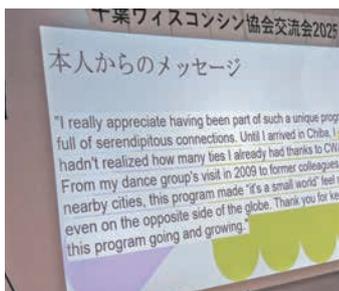


### Sarah Kautz (千葉県立松尾高等学校)

私は千葉県立松尾高等学校に2年間勤めていました。2019年に日本留学の経験があったので、ALTとして再来日した際、時間を有効に活用するため、新しい経験は何でも挑戦することにしていました。学校の部活動を通じて弓道や生け花などに挑戦し、文化祭では生徒たちと一緒に遊びました。また、同僚から巨大な白菜をもらったことがあります。新鮮な野菜を手に入れるのは、田舎の学校で働く最大の利点のひとつです。

仕事以外では、富里市のスイカロードレース大会に参加し、友人とデザインしたオリジナルTシャツを着てレースに臨みました。また、高尾山、富士山、筑波山など多くの山に友達と登り、筑波山では、100回以上裸足で登山している不思議なユーチューバーに出会いました。また、新選組の土方歳三を祀った日野の博物館にも行きました。

帰国後、ウィスコンシン州更生局で犯罪防止と更生保護の仕事を以前と同様続ける予定です。



### JulieMae Engelmann (千葉県立流山おおたかの森高等学校)

ジュリメイさんは千葉県立流山おおたかの森高等学校に4年間勤めていました。交流会には出席できませんでしたが、交流会参加者へのメッセージを寄せていただきました。

彼女はメッセージの中で、ウィスコンシンALTプログラムを離れるにあたり、千葉との多くの偶然のつながりがあったと述べており、そのひとつに2009年にダンスグループの一員として千葉との交流に参加した経験があることや、ウィスコンシン州出身の元同僚が現在近隣の都市に住んでいることを知ったことを挙げています。また、千葉県とウィスコンシン州の親密な関係は故郷から遠く離れているにもかかわらず、本当に「小さな世界」であるかのように感じさせてくれており、姉妹州の強固な関係を維持する役割を担っているCWAに感謝の意を表しています。

彼女は今後日本に残るつもりで、現在就職活動中です。



### James Aguilo Ramos (千葉県立君津高等学校)

ジェームズさんは4年間、千葉県立君津高等学校に勤めていました。学校の文化祭が交流会と重なったため出席できませんでしたが、挨拶のビデオを送っていただきました。

スペイン出身の彼は、ウィスコンシン大学ミルウォーキー校でTESOL(英語教授法)の修士課程を修了し、ウィスコンシンALTプログラムに参加可能になりました。ALTになる前は、数々のアニメのスペイン語版で声優を務めるなど、長年にわたり多彩なキャリアを積んできましたが、教えることを心から楽しんでます。

彼は今後スペインに一時帰国後、沖縄の大学院に通う妻の所へ行く予定です。

## 令和7年度理事会

6月2日（月）、ホテルポートプラザちば（千葉市中央区）において、令和7年度理事会を開催し、特別顧問、顧問（代理）1名、理事9名（うち代理1名のほか委任状提出理事9名）、監事2名が出席しました。

冒頭、茂木友三郎会長は「コロナ禍を経ても千葉県とウィスコンシン州の友情が続き、昨年交流が再開できたのは、関係者のご尽力の賜物と、深く敬意を表します。また去年は、当協会が文化の日に国際交流の団体として千葉県知事から表彰をされたことは、これまでの交流が評価されたものと嬉しく思います」と挨拶しました。

続いて、特別顧問である熊谷俊人知事からご挨拶をいただいた後、知事は所用のため退出されました。

会議では、令和6年度の事業報告及び収入・支出決算、令和7年度の事業計画（案）及び収入・支出予算（案）等6つの議題が審議され、いずれも総会に付議されることになりました。次いでウィスコンシン州との交流状況について事務局から報告がありました。



## 令和7年度定期総会

6月21日（土）、ホテルプラザ菜の花（千葉市中央区）において、令和7年度定期総会を開催し、正会員18名（この他委任状提出会員54名）が出席しました。

冒頭、大石道夫副会長から、「昨年10月交流を再開し、今年度はウィスコンシン州から友好使節団を迎える予定です。また、去年は、当協会が文化の日に国際交流の団体として千葉県知事から表彰をされましたことは、これまでの交流が評価されたものと思います。改めて皆様へ感謝を申し上げます」と挨拶しました。

その後、会員の笹生健司さんを議長として、令和6年度の事業報告及び収入・支出決算、令和7年度の事業計画（案）及び収入・支出予算（案）、理事・監事の選任（案）について審議が行われ、すべて原案のとおり承認されました。



## 役員の方から寄稿していただきましたので紹介します

- ウィスコンシン州は、面積は千葉県の10倍以上だが、人口はほぼ同じの約600万人である。特に農業と工業を両立させている点で両者は非常に似ている。千葉ウィスコンシン協会が創立されてから今年で21年を迎えるが、この間、相互の文化的な交流が活発に行なわれ、両州県民の友好と相互理解が深まったことは大変好ましく、協会関係者の努力に心から敬意を表したい。  
大石道夫副会長（かずさDNA研究所理事長）
- コロナで停止を余儀なくされていた交流が2024年度から再開され、5年ぶりに友好使節団を派遣できたことは誠に喜ばしいことです。さらに2025年度はウィスコンシン州からの受入事業を行う予定となっています。派遣・受入の流れを絶やすことなく継続し、交流がより一層活発化することを心から期待しています。  
吉田和彦常務理事（ちば国際コンベンションビューロー代表理事）
- 日頃より、千葉ウィスコンシン協会（CWA）の活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年CWAは創立20周年という大きな節目を迎え、コロナ禍により中断を余儀なくされていた相互派遣事業も10月に再開されました。千葉県は成田空港の「第2の開港」を契機に国際化を更に推進しており、米国での千葉県立佐原高校の学生たちの生き生きとした交流の様子は千葉県とウィスコンシン州の明るい将来を感じさせました。  
龍野一郎理事（千葉県立保健医療大学学長）
- 受入や派遣により、若い世代がウィスコンシン州の方々と交流する機会があることは素晴らしいことです。特に、ウィスコンシン州を訪れる機会をCWAが提供していることは、日本では味わえない『学び』や『気づき』があることや円安そして物価高騰により日本から海外に行きにくくなっている現況からすると、大いに意味があると考えています。  
福水勝利理事（千葉県立成田国際高等学校校長）
- 国際交流は最高の「投資」です。見たことのない街並みや風景、異なる文化、価値観との出会いは、若者たちの視野を広げ、多角的な思考力と創造力を育み、思いもよらなかった未来の選択を可能にしてくれるでしょう。そして、彼らを通じ、地域社会へ新たな活力をもたらしてくれるはずです。千葉県とウィスコンシン州の揺るぎない信頼関係を基盤に、「若者を世界へ」送り出し、若者と地域の未来を豊かにすること。これは、私たちの重要な使命に違いありません。  
冨沢昇監事（千葉県産業振興センター理事長）

## 新たな出会いと交流を求めて – CWA運営委員の生の声 –

★会員等交流部会は、イベントを通して会員相互の交流を図り、一人でも多くの方にCWAに関心を持っていただきたいという強い思いで活動しています。イベントにはウィスコンシン州出身のALTが参加し、州の魅力や赴任校での体験などを英語や日本語でスピーチし、コミュニケーション力アップに一役買っています。今年6月には離任ALTフェアウェルを兼ねた「交流会」を開催し、9月にバーベキューで「新任ALT歓迎会」、冬にサンクスギビングと千葉の食を共に作って味わう「日米食文化交流会」を開催します。初めての方にも喜んでいただけるよう、ただ今企画進行中。皆さんの参加をお待ちしています!

阿部照夫会員等交流事業部会長

★2001年に友好使節団の一員として派遣されたことがウィスコンシン州との関りの始まりでした。当時は県が主導した友好使節団でしたが、その後CWAが設立され20年経ち、その間、様々な団体が友好使節団としてウィスコンシン州を訪問しました。しかし、派遣後CWAの会員として関りを持っていただける団員が少なくとても残念です。派遣の機会だけでなく、特に若い人達が参加でき、CWAに関心を持っていただける機会を皆さんと考え造っていかれたらいいなと思っています。よろしく願いいたします。

安藤忠男事務局長

★21年の歴史を誇るCWAをこれまで支えてくださった方々に心より御礼申し上げます。今年もアドバイザーとしてCWAの活動に参加させていただけることを嬉しく思います。とは言いつつも、日程的に都合が付かないことも少なくなく、いろいろな活動に参加できずご迷惑をおかけしております。今年も受け入れの年となりますので、ウィスコンシンからお越しいただく方々には、広く深い交流の中、千葉県をよりよく知っていただき、良い思い出を持って帰国いただけるように、微力ながら協力させていただければ幸いです。

大浦雅己アドバイザー

★私とCWAとの出会い、2012年からは会員等交流事業部会の運営委員、2015年からはイベントスタッフ、そして今期は派遣・受入事業部会運営委員です。今年度は7年ぶりとなるウィスコンシン州使節団が来日されます。使節団の方々が滞在中この地で楽しく快く無事に交流活動を遂行出来るにはどのような対応が必要なのか、笹生部会長に提案できるようになればと思います。一般の方々にはウィスコンシン州はあまり知られていない感があります。今後は姉妹都市であること等、ウィスコンシン州をより多くの方々に知ってもらえる努力もしたいです。

角田トミ子運営委員

★ウィスコンシン州の友人ができたことをきっかけにCWAとのご縁にも恵まれました。CWAのみなさんは、多才そして経験豊富で勉強になることばかりです。アフター会議は月に一度のお楽しみになっています。国際交流の難しさやボランティア活動の大変さ等たくさんの課題がありますが、やりがいのある活動は全てが新しい経験で、とても刺激的な日々です。高校の偉大な先輩の茂木友三郎会長が作ってくださったウィスコンシン州とのつながりを深めていきたいです。どうぞよろしく申し上げます。

片岡智絵運営委員

★派遣受入事業部会においては、コロナ禍を経て昨年度ようやく復活したウィスコンシン州との使節団による交流について、今年度は7年ぶりの受け入れを無事成功させたいと考えています。この春、新体制になった「ウィスコンシン千葉委員会」と密接に連携しつつ、次世代につながる顔と顔の見える交流を関係市町村と一体となり未来志向で作り上げていきたいと思っております。また、使節団への若い人たちの参加を促すとともに、新部会員にも様々なかたちでご活躍いただき、交流の幅をさらに広げていきたいと思っております。

笹生健司派遣・受入事業部会長

★今年もウィスコンシン州友好使節団受け入れの年です。ウィスコンシン州からどのような方が来て、千葉県の方たちとどのような出会いがあるのかとても楽しみです。広報部会では、県内で展開される交流現場でのホットな情報を出来るだけたくさん伝えていきたいと考えています。もちろんユーチューブでの動画配信も引き続き行っていきますが、動画では伝えきれない情報も出来る限り伝えていきたいと思っています。これからのCWA NEWSやホームページを楽しみにしててください。

宮崎忠夫広報部会長

★2001年から千葉県とウィスコンシン州との交流に携わり、この間感染症や大震災等による中断もありましたが、派遣・受け入れが着実に実施されるよう取り組んできました。CWA設立20周年に当たる昨年は、2005年にCWAとして派遣した文化・芸術グループの団員の一人が高校生6名とウィスコンシン州を訪問して「さわら囃子」を披露し、現地の若い世代との交流につなげてくれたことはとても良かったと思っています。今後も、文化・芸術分野だけでなく他の分野でも若いグループがウィスコンシン州との交流に参加してくれるよう努めてまいります。

森山茂男運営委員



2014年11月 長生高校で高校生と交流

## 故 Sharon Durtka 委員長を偲ぶ

これまで長い間、千葉県とウィスコンシン州との姉妹交流でご尽力をいただいたウィスコンシン千葉委員会の Sharon Durtka 委員長が、今年2月9日にお亡くなりになりました。

Sharon Durtka 委員長は、ご主人の Alexander Durtka さんとともに、ウィスコンシン千葉委員会のメンバーであり、2011年からは副委員長として、2014年からは委員長として、CWA との交流窓口の中心的役割を果たしていただきました。

その間、東日本大震災や新型コロナウイルスの感染拡大により交流が中断することがありましたが、双方が互いに協力

し合うことで乗り切ってまいりました。それも偏に Sharon Durtka 委員長の前向きで積極的なお考えによるところが大きかったと思います。

CWA では2021年に姉妹提携30周年記念誌を発行しております。Sharon Durtka 委員長からいただいたメッセージの中で、「CWA とウィスコンシン千葉委員会は協力し、互いに理解・尊重し合い、友情を育むという共通の目標に向かって進んでいきましょう」と述べておられます。

また、昨年10月千葉県友好使節団がウィスコンシン州を訪問した際、Sharon Durtka 委員長から CWA 設立20周年を祝して、樹齢20年の木材を使った記念のプレートをいただきました。

CWA 運営委員会一同、心よりご冥福をお祈りいたします。そして、Sharon Durtka 委員長の姉妹交流への熱い思いを継承して、今後とも幅広い分野で交流が深まるように努力してまいります。



2024年10月 CWA 設立20周年記念プレート

## ダニエル・シュミット ウィスコンシン千葉委員会委員長就任あいさつ



Dear esteemed members of the Chiba Wisconsin Association,

As the new board president of Wisconsin-Chiba, Inc. I look forward to working with all of you to continue promoting sister state relations between Chiba Prefecture and the State of Wisconsin. It is my honor to carry on the legacy of the leaders that came before me, and I look to a future of even greater exchange and stronger relations.

Many of you may already know me from my time as a member of the Wisconsin-Chiba Sister Schools Program teaching at Narita Kokusai High School. I remember attending the first meeting of the Chiba Wisconsin Association. Since then, as a member of Wisconsin-Chiba, Inc., it has been my pleasure to help host the visiting delegations that have come to Wisconsin.

Now it's my turn to give back and help ensure that future generations can continue to enjoy the unique experiences supported by the sister state relationship between Wisconsin and Chiba.

宜しく申し上げます。

### 千葉ウィスコンシン協会の皆様

ウィスコンシン千葉委員会の新委員長に就任いたしましたダニエル・シュミットと申します。千葉県とウィスコンシン州の姉妹州関係をさらに促進するために、皆様と共に働き、前任者の遺志を引き継ぎ、より一層の交流と関係強化を目指してまいります。

ご存知の方も多くいらっしゃるかと思いますが、私はウィスコンシン州・千葉県姉妹校プログラム（現在名：姉妹州 ALT プログラム）で成田国際高校に勤務していました。千葉ウィスコンシン協会の設立総会に出席したことも覚えております。それ以来、ウィスコンシン千葉委員会の一員として、ウィスコンシン州を訪れた使節団の受け入れのお手伝いをさせていただきました。

今度は私が恩返しをする番であり、ウィスコンシン州と千葉県の姉妹関係によって生まれるユニークな体験を、次世代が引き続き享受できるようにするお手伝いをする番になりました。

宜しく申し上げます。

## 令和7年度事業計画

### [事業方針]

CWAは今年で21年を迎え、これまで会員交流、広報活動、友好使節団の受入れ・派遣などの事業を通じてウィスコンシン州の市民との交流を深めてきました。令和7年度は、前年度までの事業実績をもとに、さらに多くの方にウィスコンシン州の魅力を知っていただけるよう、各分野の事業内容のより一層の充実を図ってまいります。

### [事業内容]

#### 1 定例会の開催

- ・理事会、総会：各1回
- ・運営委員会：原則として毎月第二土曜日に開催、委員会の前に各部会を開催

#### 2 ウィスコンシン州との交流事業の企画・運営

ウィスコンシン州友好使節団の受入

- ・時期：令和7年10月頃（予定）
- ・受入団員数：10名程度

#### 3 会員等交流事業の開催

- ・会員交流会&Farewell Party（6月21日（土））
- ・新任ALT歓迎会（9月頃予定）
- ・食文化交流会（11月頃予定）

#### 4 CWAの活動及びウィスコンシン州に関する広報事業

- ・CWA NEWSの発行（3回）
- ・CWAホームページによる各種情報提供
- ・各種イベントへの参加
- ・ウィスコンシン州及び同州との交流に関する情報収集

## 令和7年度 収入・支出予算

### 1 収入の部

単位：千円

科目	7年度(A)	6年度(B)	A-B	備考
会費	576	576	0	
補助金	1,150	1,150	0	
県運営費補助	150	150	0	
県事業費補助	1,000	1,000	0	
交流事業等参加費	510	1,190	△680	交流会等
繰越金	2,716	3,975	△1,259	
計	4,952	6,891	△1,939	

### 2 支出の部

単位：千円

科目	7年度(A)	6年度(B)	A-B	備考
運営費	297	297	0	印刷費、消耗品費等
事業費	2,694	3,684	△990	
会議費	110	80	30	理事会、総会
友好使節団派遣・受入事業	1,900	2,920	△1,020	旅費、報告書
会員等交流事業	274	274	0	交流会経費
広報事業	410	410	0	CWA NEWSの発行
予備費	1,961	2,910	△949	
計	4,952	6,891	△1,939	

## 令和7年度 千葉ウィスコンシン協会役員・運営ボランティア

(令和7年8月1日現在)

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
特別顧問	熊谷 俊人	千葉県知事	理事	福水 勝利	千葉県立成田国際高等学校校長
顧問	佐々木 久之	鴨川市長		横手 幸太郎	国立大学法人千葉大学学長
	太田 洋	いすみ市長		相澤 修一	千葉県総合企画部次長(地域づくり)
会長	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社取締役名誉会長 取締役会議長	監事	富沢 昇	公益財団法人千葉県産業振興センター理事長
副会長	大石 道夫	公益財団法人かずさDNA研究所理事長		戸塚 隆友	独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 千葉貿易情報センター所長
	大澤 克之助	株式会社千葉日報社相談役			
	佐久間 英利	一般社団法人千葉県商工会議所連合会会長			
	柳橋 良造	公益財団法人千葉県文化振興財団理事長			
常務理事	中村 耕太郎	公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー代表理事			
理事	青柳 洋治	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長			
	堂脇 清志	学校法人東京理科大学創域理工学部長			
	山崎 清美	一般社団法人千葉県経済協議会会長			
	熊谷 俊行	一般社団法人千葉県経営者協会会長			
	林 左絵子	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構特任教授			
	佐久間 英利	千葉県経済同友会代表幹事			
	龍野 一郎	千葉県立保健医療大学学長			
	宮崎 義政	千葉県太鼓連盟会長			
	高橋 秀行	千葉県酪農農業協同組合連合会代表理事会長			

【運営スタッフ】		
<b>派遣・受入事業部会</b>	<b>会員等交流事業部会</b>	<b>事務局</b>
大浦 雅己(アドバイザー)	○阿部 照夫	加藤 由恵
森山 茂男(委員長)	石井 崇子	佐藤 有華
安藤 忠男(事務局長)	三橋 早苗	愛川 真司
青木 靖子	山崎 静江	
小川 鉄次	<b>広報部会</b>	
浅沼 明夫	大原 美保子(副委員長)	
角田 トミ子	○宮崎 忠夫	
片岡 智絵	Maximilian Gumble	
○笹生 健司		○印は部会長

【イベントスタッフ】	【PRスタッフ】
慶児 聡子	榊田 直美
薄井 まどか	
小川 智子	

### 【編集後記】

今回は、CWAの理事会、総会及び交流会の様子について報告するとともに、役員から寄せられた交流の大切さを訴える熱いメッセージや、新メンバーを含む運営委員からの交流事業の取組みに向けた意気込みを紹介させていただきました。CWAはより深く、より幅広い交流を目指して一丸となって取り組んでまいります。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<https://chiba-wiconsin.net/>

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟 14階  
(公財)千葉国際コンベンションビューロー内

\*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)

